

平成16年6月18日

第17回奈良県消防長会消防救助技術指導会について

この大会は、奈良県下13消防本部（局）の消防職員が、あらかじめ定められた訓練種目（9種目）に分かれ、日頃の訓練の成果を披露するものです。

なお、安全性、確実性と併せ所要時間を評価し、7月28日（水）に実施されます東近畿地区救助技術指導会への選考も実施します。

1 目的

救助技術訓練を通じて各種災害に対応する救助技術の向上と体力錬成を図り、救助業務の充実と発展に寄与することを目的とする。

2 実施日時

平成16年6月22日（火）午前9時00分～午後3時00分

荒天の場合は、6月24日（木）に延期（中止決定午前5時）

3 実施場所

奈良市八条五丁目404-1

奈良市消防局訓練場

4 内 容

別紙のとおり

5 主 催

奈良県消防長会

6 問い合わせ先（取材担当）

奈良市消防局 総務課

電話 35 - 1199

奈良県消防長会消防救助技術指導会

1 日 時 平成16年6月22日(火) 午前9時00分から午後3時00分

2 場 所 奈良市八条五丁目404番地の1・奈良市消防局訓練場

3 開 会 式

- (1) 開 式 の 辞 午前9時00分
- (2) 国 旗 掲 揚
- (3) 大 会 会 長 あ い さ つ
- (4) 来 賓 祝 辞
- (5) 審 査 長 指 示
- (6) 総 括 安 全 管 理 者 指 示
- (7) 選 手 宣 誓
- (8) 選 手 退 場

4 訓 練 開 始 午前9時30分

別紙『大会(訓練)プログラム』参照

5 閉 会 式 午後3時00分

- (1) 表 彰
- (2) 講 評
- (3) 国 旗 降 納
- (4) 退 場 (解 散)

大会（訓練）プログラム

- 9：30～ 《ロープブリッジ渡過（個人）5名》 《標準所要時間28秒》
水平に展張した渡過ロープを、表示した始点から折り返し点まで（20m）を往復する。往路はセーラー渡過・復路はモンキー渡過で渡り、その安全性と所要時間を評価する。
- 9：55～ 《ロープブリッジ救出（団体）6組》 《標準所要時間75秒》
4名1組で、2名が対面する塔上の要救助者を救出するため水平に展張した渡過ロープを渡過し、塔に進入、救出し、脱出するまでの安全性・確実性と併せて所要時間を評価する。
- 10：20～ 《ロープ登はん（個人）4名》 《標準登はん高さ15m》
塔上から垂下されたロープを手だけを使って15mの到達点まで登り、地面からの登はんの高さを評価する。
- 10：30～ 《はしご登はん（個人）28名》 《標準所要時間24秒》
塔前5mからスタートし、自己確保の結索を行った後、垂直はしご15mを登はんし、その確実性と所要時間を評価する。
- 昼 食
- 12：30～ 《ほふく救出（団体）28組》 《標準所要時間70秒》
3名1組で、1名が空気呼吸器を着装して8mの煙道を検索し、要救助者を煙道外に救出し、2名が協力して要救助者を安全地帯（スタート地点）に搬送するまでの安全性・確実性と併せて所要時間を評価する。
- 13：45～ 《斜めブリッジ救助（団体）4組》 《標準所要時間120秒》
5名1組で、上高さ7mの塔上にいる要救助者を救出するため、三連はしご等を使って3名が塔に進入、救出し、脱出するまでの安全性・確実性と併せて所要時間を評価する。
- 14：05～ 《引揚救助（団体）2組》 《標準所要時間150秒》
5名1組で、2名が空気呼吸器を装着して塔上の出発点から降下し検索後、要救助者を抱きかかえ救出し、塔下に搬送、塔上の2名と協力して塔上へ引揚げ救助するまでの安全性・確実性と併せて所要時間を評価する。
- 14：25～ 《ロープ応用登はん（団体）6組》 《標準所要時間16秒》
2名1組で登はん者が塔前2mからスタートし、地上高15mの到達点まで器具を使わず補助者の協力を得て登り、その確実性と所要時間を評価する。
- 14：40～ 《障害突破（団体）2組》 《標準所要時間195秒》
5名1組で、4名がスタート地点からゴールに至る経路に設けた5箇所の障害を、互いに協力して全員が突破しゴールするまでの安全性・確実性と併せて所要時間を評価する。
- 15：00～ 閉会式

天候等により、各種目の開始時間が変更になる場合があります。